臨床検体使用に関するお知らせ

『研究課題名　全身性エリテマトーデスにおけるミコフェノール酸モフェチルに関する臨床実態に即した観察研究　**』**

【研究の背景および目的】

ミコフェノール酸モフェチルは、全身性エリテマトーデスの治療において世界的に用いられている薬剤です。海外における臨床的有用性の報告はすでになされていますが、日本で保険適用となったのは 2016 年 5 月であり日本人における十分なデータはありません。そこで東邦大学医療センター大森病院膠原病科では、日本人の全身性エリテマトーデス患者様におけるミコフェノール酸モフェチルの効果、安全性を検討することを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果が、今後の日本人の全身性エリテマトーデス患者様の有効な治療薬剤選択につながることを期待しています。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2014 年 7 月～2017 年 10 月までに東邦大学医療センター大森病院膠原病科において、ミコフェノール酸モフェチルを投与された全身性エリテマトーデスの患者様を対象とします。

診療録（カルテ）から抽出した血液・尿検査データなどの臨床検査成績を解析することにより、ミコフェノール酸モフェチルの有効性や有害事象を評価します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関連する利益相反事項は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会に申告し、研究方法に関して承認を得ており、利益相反に関する公正性･信頼性を保ちます。

本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院
膠原病　科
職位・氏名　レジデント　川添麻衣
電話　03-3762-4151　内線　6595
研究責任者　教授　南木　敏宏